

海洋プラスチックごみ問題における包装とプラスチック削減セミナー

～循環型社会実現のための包装とプラスチック削減手法について～

近年海洋プラスチックごみ問題が深刻化しており、プラスチックの削減が急務となっております。本セミナーでは、このような状況での包装の潮流について解説いただくとともに、企業間コラボによるプラスチック削減事例、海洋プラスチックごみ対策に有効な生分解性プラスチックの開発について解説いただきます。

プラスチック削減が望まれる状況での包装・素材など製品開発に役立つ情報を提供いたします。

【日 時】 令和2年12月14日(月) 13:30～16:30

【会 場】 オンラインセミナー 「YouTube Live」を利用して配信いたします。

【参加費】 無料（事前申込制）

PCやタブレットなどの端末と、インターネット環境が必要です。（お送りしますミーティングURLをクリックしていただくだけで簡単に視聴が可能です）オンライン上による名刺交換、質問も可能です。

講演に対する質問は電子メールで受け付け、後日、回答メールを返信いたします。

【申込締切】 令和2年12月9日(水) ※申込み方法は裏面をご覧ください。

【プログラム】

・挨拶 四国経済産業局 地域経済部

・「循環型社会実現に向けた包装の新潮流

～新型コロナ後の課題（脱プラ、リサイクル、紙化）の行方は？～

有田技術士事務所（技術士・包装管理士） 有田俊雄氏

日本包装管理士会会長、日本包装技術協会技術参与

世界包装ジャーナリスト協会・名誉会員 米国包装殿堂入り(2005年)

脱石油・循環型社会へ世界的気運が高まっている。狙いは「資源の有効活用とごみゼロ社会」の実現にある。包装材料、包装技術、リサイクルも大きな転換期にあり、プラスチック、紙の包装設計への新たなイノベーションが求められている。

・「クリーン・オーシャン」の実現に向けた今後の企業の取組み方とは・・・？

北村化学産業(株)QOL事業部 マーケティング課 田中瑞紀氏

日本製紙(株)情報・産業用紙営業部 シールドプラス事業推進室 内村元一氏

地球規模の新たな課題である海洋プラスチックごみ問題が今、パッケージ業界を大きく揺るがしている。日本においても2019年1月にCLOMAが設立され、課題解決に向けた様々な取組の推進が始まっている。持続可能な社会の実現に向け、我々企業は、どのような取組みを進めれば良いのだろうか・・・？

・「カネカ生分解性ポリマー PHBHの開発」

(株)カネカ Green Planet 推進部 Green Planet 計画(日本) 推進グループ

企画チームリーダー 福田竜司氏

100%植物由来で、軟質性、耐熱性を持つ生分解性ポリマー。マイクロプラスチック問題を解決し、持続可能な社会のために、今後必要な素材として大きく期待されている。

主催：経済産業省四国経済産業局、一般財団法人 四国産業・技術振興センター（四国地域イノベーション協議会）

海洋プラスチックごみ問題における包装とプラスチック削減セミナー

～循環型社会実現のための包装とプラスチック削減手法について～

参加申込書

必要事項をご記入のうえ、FAX 又は電子メールにてご送付ください。申込期限：12月9日(水)

■お問い合わせ・申込み先

〒760-0033 香川県高松市丸の内2番5号

一般財団法人四国産業・技術振興センター 産業振興部 村山

TEL : 087-851-7082 FAX : 087-851-7027 E-mail : murayama@tri-step.or.jp

貴社・団体名		
住 所		
項目	所 属 ・ 役 職	氏 名
参加者 1		
E-mail/電話	/	
参加者 2		
E-mail/電話	/	
参加者 3		
E-mail/電話	/	
参加者 4		
E-mail/電話	/	

申込時に記載いただく個人情報につきましては、本セミナーの実施・運営以外の目的に使用することはありません。

(備考) 受講 URL および講演資料については、12月11日に、ご記入いただいた E-mail アドレスへ送信させていただきます。